

おだがいさま

odagaisama

第83号
令和元年
8月1日発行

わくわく体験 『はなまるランド』で



児童施設紹介&ひと言PR

去る6月13日、市社協が市の指定管理を受けて運営している5児童館と子育て広場（まんまルーム）合同企画の「はなまるランド」が鶴岡市朝陽武道館にて開催されました。〔※右記載〕未就園児親子・家族を対象とした企画で、乳幼児親子向けに赤ちゃんの身体測定や足形スタンプ、1歳からは手作り小麦粉粘土遊びや野菜を使ったダイナミックな絵の具遊びなど、親子全員が楽しめる内容でした。一方で、消防士さんから救命救急を学べるブースも設けられ、我が子の「いざという時」を想定し、消防士さんへ熱心に質問される親御さんの姿も見られました。当日は各児童館の乳幼児サークル登録者を中心に、200名を超える参加者で賑わいをみせていました。

「はなまるランド」とは

未就園児親子・家族を対象に、様々な遊びの体験や交流を楽しんでいただくことや、児童館・子育て広場のことを多くの方に知っていただくことを目的に開催しています。

鶴岡市中央児童館（ひろっぴあ）

広大な児童遊園が隣接しており、季節の移り変わりを感じることができ、子どもから大人まで地域の方々より親しまれています。
☎24-4608

鶴岡市大山児童館（くるくる）

毎週日曜日にお話し会、隔週日曜日に季節に合わせた製作が楽しめます。飲食スペースもあります。
☎38-0260

鶴岡市鶴岡西部児童館（ゆめつくり）

木の温もりたっぷりの館内。隠れ家的スペースが人気のロフト図書室もあります。毎月2回のおはなし会もあるよ！
☎29-0031

鶴岡市鶴岡南部児童館（みなつくる）

乳幼児サークルは登録制の“ポピンズ”が毎週月曜日に！“みなつくるであそぼう！”が毎月金曜日に行われます。私達に会いに来てください。
☎64-1900

鶴岡市陽光児童館

赤ちゃんのお部屋“にこちゃんルーム”から、乳幼児クラブ“ようこひろば”、プレイランド、保護者向け事業“ママ&ナナ”とお楽しみが沢山！是非遊びに来て下さい。
☎64-8640

鶴岡市子育て広場（まんまルーム）

就学前（主に0～3歳）の親子がいつでも集える、大型遊具と手作りおもちゃがいっぱいの広場です。子育て講座、にこにこタイムも是非どうぞ。
☎24-5635

今後の合同行事のご案内

- ・9月26日（木）「はなまるうんどう会」（乳幼児親子向け）
- ・10月20日（日）「逃走中」（小学生向け）

8月末までスタンプラリー実施中です！
この機会に各施設へ足を運んでみてください！

第六学区

鶴岡中央高校生との交流

住民サロンとタイアップ

市内の地域福祉活動を紹介するシリーズ

第六学区は12の町内会から構成されており、人口11,546人、高齢化率は30.4%です。(平成31年3月31日現在)

古くからある町内会と比較的新しくできた町内会が混在しているため、高齢化が加速している町内会もあれば、逆に新興住宅が目立つ町内会もあり、学区内での地域課題も混在しています。

こうした状況を踏まえ、第六学区コミュニティネットワークでは学区住民全体を支える取組みを現在検討しています。これまで実施してきた高齢者を支える地域づくりの取組みを活かしながら、第六学区住民全体を巻き込んだ事業展開を考えています。



第六学区コミュニティネットワークでは、鶴岡中央高校総合科社会福祉系列が授業の一環で実施している「いきいき高齢者元気アッププロジェクト」とタイアップしたサロンを開催しており、今年で6年目になります。毎年2〜3つの町内会のサロンと一緒に開催していて、その年の3年生がサロンに参加します。今年度1回目は砂田町の共生サロンで開催しました。

住民サロンへ高校生が体験



第六学区コミュニティネットワークと鶴岡中央高校との連携は平成25年度から始まり、その関わりの中で高校生から地域のサロンに参加したいという声が上がったことでタイアップサロンが始まりました。サロンで実施する内容は社会福祉系列の生徒たちが考案した介護予防体操の「いきいき体操」を中心に、サロンに参加する方が楽しく体を動かし過ごせるようなレクリエーションを企画しています。当日のサロンの進行も生徒たちが自分で行うため、初めて行くサロンではリハールサル通りにいかないことも多く、生徒たちが焦ってしまう場面も何度か見られました。それでも、サロンに参加した高齢者からは「子どもたちとふれあえて楽しい」「いろんな準備をしてサロンに来てくれてうれしい」「また来ての」といった声が聴かれました。



第六学区コミュニティネットワークでは、このタイアップサロンの開催だけでなく、鶴岡中央高校の生徒たちに認知症サポーター養成講座を開催するなど、将来を担う福祉の人材育成のためにも積極的に交流を深めています。「地域の子どもたちと、地域住民がふれあう機会が少なくなっているのでも、このようなタイアップサロンなどで少しでもふれあいの場づくりになれば」と第六学区コミュニティネットワークの菅原事務局長は話されていました。

地域の子どもたちへ一役

平成30年度 事業報告と決算報告

社会福祉法に定められた「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」（第 109 条）として、社会福祉に関する「協議会」であるという原点を踏まえながら、地域課題、生活課題が多様化、深刻化している状況において、関係機関、地域団体と協働しながら地域福祉の推進に努めました。同時に、高齢者福祉及び障がい者福祉、児童福祉の各事業の安定した運営、充実に努め、また、社会福祉法人制度改革に基づく法人運営を進め、法人として円滑で強固な組織体制と組織運営の基盤整備を更に進めました。

地域福祉事業

地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画 2015」に盛り込んだ取組みの進行管理を行い、行政、関係機関、地域団体と協働しながら地域福祉を進める新たな仕組みづくり、また、地域支援の強化と個別相談支援を推進しました。

生活支援事業

生活困窮世帯やひきこもりの若者への対応について、連携機関を増やししながら支援の充実を図り、特に就労に向けた支援を行うとともに、新たな生活支援サービスの検討を行いました。

高齢者福祉事業障がい者福祉事業

「第二期事業経営計画」に盛り込んだ取組みを計画的に実施しながら高齢者、障がい者サービスの更なる充実、安定した事業経営に努めました。また、情報通信技術の導入による業務改善を行いました。

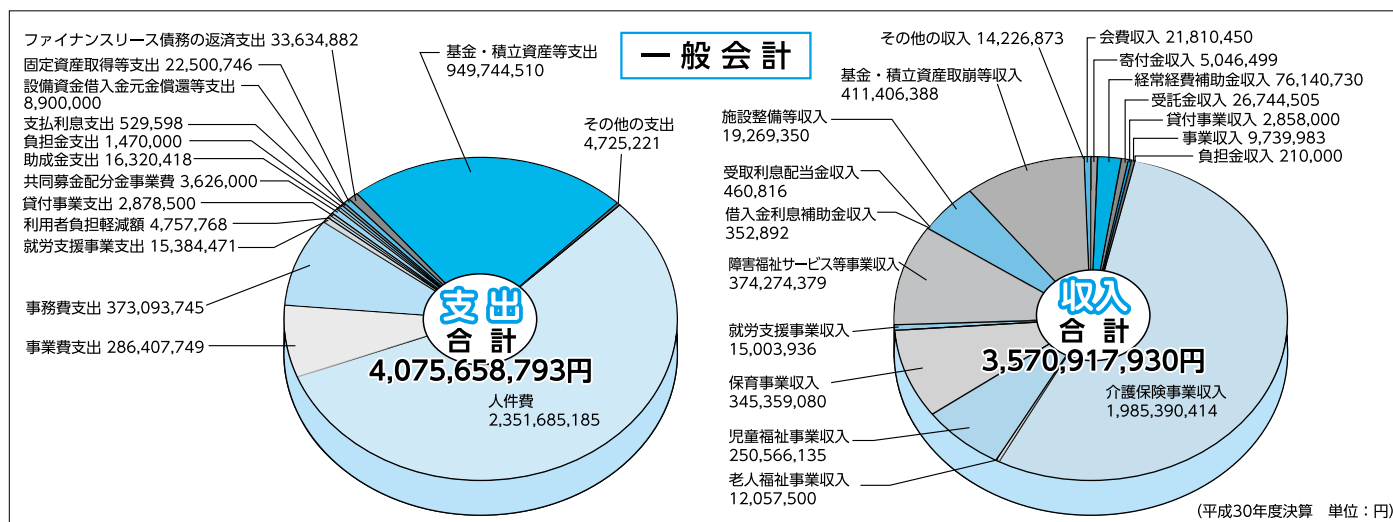
児童福祉事業

保育園では地域の自然を生かした取組みや住民との積極的な交流を行いながら園児の健全育成に努め、また、研修会の企画実施により職員の保育力アップを図りました。児童館、学童保育所では相互の連携強化を図りながら安全で安心な環境づくりを進め、特に学童保育所の環境整備を図りました。

高齢者、障がい者、児童の各事業所

施設機能や職員の専門性、マンパワーを生かしての地域の環境美化活動、催し物への参加、協力、また、介護予防や認知症予防講座等の企画、実施、各団体との地域交流を積極的に行い、地域への貢献を意識した実践を更に進めました。

このような状況の中で、地域福祉を推進する中核的な地域団体として各事業所が課題の共有と連携を図り、市民はもとより行政、関係機関、団体からのご理解とご協力をいただき、地域福祉活動の推進と事業経営の健全化に向けて各事業計画の遂行に努めました。



情報掲示板

山形県沖地震 ボランティア活動について

6月18日夜に発生した地震により、鶴岡市の各地で屋根瓦が落ちるなどの被害がありました。市社協では、翌日から行政や自治組織等と連絡をとりながら状況把握とニーズ調査を行い、市災害対策本部と対応を協議し、国の災害救助法に適用されていないことも考慮して災害ボランティアセンターを設置せず通常のボランティアセンターで活動を進めていくことにしました。

また、特に被害が大きかった温海地域における瓦礫かたづけをお手伝いするボランティア募集を行ったところ、鶴岡市内をはじめ県内、関西や関東地方等から多くのボランティアの皆さんが駆けつけてくれて7月15日現在の活動者数は271名でした。

今後もボランティアのお手伝いを必要とする場合は、随時対応いたしますので鶴岡市ボランティアセンター（電話23-2970）か、各地域の福祉センターにご相談下さい。

皆様からの温かいご支援に、心から感謝を申し上げます。



鶴岡地域生活自立支援センター

くらしステーション(くらしス)
「したくホーム」にご相談ください

☆自立相談支援

くらしステーション(くらしス)

生活や仕事などでお困りの方一人ひとりに寄り添いながら、専門機関と連携し、解決に向けた支援を行います。

- 日時 月曜日～金曜日 8:30～17:15
(年末年始祝日を除く)
- 場所 鶴岡市役所 1 階 (福祉課となり)
- 電話 29-1729
(フリーアクセス0800-800-1729)
- FAX 25-9500
- E-mail tsk-ziritu@shk01.jp

☆就労準備支援 したくホーム

「社会とのかかわりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や体験就労の提供を行います。

- 日時 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(年末年始祝日を除く)
- 場所 銀座商店街『鶴岡Dada』3階
- 電話 080-1800-0096



ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和元年5月1日～令和元年7月5日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- ・鶴翠会 様 50,000円
- ・齋藤 朱莉 様 文房具等 315点
- ・国際ソロプチミスト鶴岡 様 100,000円
- ・山形県退職公務員連盟鶴岡田川支部会 様 フェイスタオル 382枚
- ・佐藤 順 様 ワイシャツ32着、ネクタイ3本

◎温海福祉センター

- ・田川建設労働組合 温海分会 様 10,000円

★高齢者福祉センターおおやまへ

- ・富樫 仁 様 充電式草刈機 1機
- ・佐藤 等 様 30,000円

★とよら老人デイサービスセンターへ

- ・三瀬婦人会 様 フェイスタオル、ミニタオル、雑巾 計30枚

★くしびき保育園へ

- ・株式会社トガシ技研 様 ラウンドバルーン 90個

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・本間 厚 様 30,000円
- ・温海地域婦人会 様 タオル等 200枚

★もみじが丘へ

- ・あつみ温泉女性会 様 タオル、バスタオル 30枚
- ・温海地域婦人会 様 タオル90枚、中布 130枚

★施設利用者及び調理担当職員へ

- ・匿名 白衣 90枚

★特別指定寄付(オフィスひので 様へ)

- ・すこやかレディースクリニック 様 50,000円



おだがいさま

第83号

令和元年8月1日発行

発行部数 48,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる 2 階)

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。